

日本 NPO 学会 2023 年度予算概要

会長 石田 祐

1. 概要

1.1. 収支について

- ・ COVID-19 に関する社会状況の変化に伴い、対面での学会活動が再開されているため、それを想定して経常費用を見積った。収支全体としてはゼロとなる予算とした。
- ・ 2022 年度をもって特別会計を廃止することとなった。これを踏まえ、2023 年度予算は一般会計と特別会計を統合した予算とした。

1.2. 会費について

- ・ 2022 年度の受取会費は、正会員の過年度未納分が計画通り徴収できた。しかし、とくに正会員の当年度会費が計画通り徴収できていない。2023 年度予算は、会費徴収の強化や新規会員獲得に努めることを前提に、589 万円の会費収入を見込む。

1.3. 研究大会及びセミナー開催費について

- ・ 第 24 回研究大会では、大会参加費を無料としたが、第 25 回研究大会は対面開催の予定である。過去の対面での研究大会とほぼ同様の事業規模を想定している。
- ・ 前年度に引き続き、2023 年度も各種セミナーの開催が検討されており、それに伴う事業を計上している。

1.4. 学会誌印刷・発送費について

- ・ 学会誌「ノンプロフィット・レビュー」の発行費・発送費を、例年通り 2 号分計上している。ただし、発行が遅れている Vol.22/No.2 の発行状況によっては、追加での予算計上が必要になる可能性があり、その場合は、補正予算として対応することとする。

1.5. 支払助成金について

- ・ 若手研究者の国際学会参加支援助成金について、対面での学会参加等の増加を見込み、旅費の支出を増額して計上している。

1.6. 会議費及び旅費交通費について

- ・ 引き続き、オンラインによる理事会・委員会開催を行う予定であるが、一部対面での開催を併用することを想定し、会議費や旅費を一定額計上している。
- ・ 対面でのセミナー開催も想定し、会議費や旅費等を計上している。

1.7. 委託費について

- ・会員業務を委託している（一社）学会支援機構への委託費は、委託費の値上げに伴い、前年度より増額して計上している。
- ・第25回研究大会において、対面とオンラインのハイブリッド・セッションを開催予定であり、その運営委託費を予算化している。
- ・2024年4月からの学会事務局業務委託団体の変更を想定し、その移行に伴う管理費を予算化している。
- ・学会誌発行に伴う編集業務における一部委託費用を予算化している。

1.8. 通信運搬費について

- ・例年通りの計上だが、第25回研究大会が対面で開催されることに伴い、Zoomの契約料が減額見込みであり、昨年度よりも管理費分は減額している。他方で、学会誌の公開や査読に関して利用しているJ-Stage利用料が値上げされており、事業分は増額している。

1.9. 日本NPO学会賞関連費について

- ・学会賞査読用図書費用は、学会賞への応募数によって増減があるが、過年度の推移を踏まえ、ほぼ同額を予算化した。

以 上